

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-1
PDCA	主要事業名	リサイクルセンター施設改修事業	部課名	市民経済部環境課	担当 内線	岩瀬 23-3567
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策： 循環型社会 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 23,001 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.02.01.02.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	令和4年4月のクリーンセンターごみ処理施設稼働停止に伴い、焼却棟から供給している電気・水道・空調設備等が停止となる。今後も継続して使用する管理棟、計量棟、資源回収センター等のライフラインを確保するための改修工事を実施する。 事業目的： 焼却棟から空調設備等を切り離すことにより、管理棟を独立させ機能確保を図る。 事業内容： 管理棟を継続して使用していくため空調・給湯器設備の改修工事を行う。 問題点・課題 管理棟では通常業務を行っているため、改修工事による空調・給湯器設備等の切替作題等： 業については、施工管理者との十分な調整が必要となる。				
	予算額	主要事業とする理由				
	20,801 千円	ごみ処理施設の稼働停止後も、管理棟はごみ減量を推進する拠点として継続して使用する予定であり、施設の機能確保に必要な事業であるため。				
	財源内訳	得られる成果				
	市費 20,801 千円	施設の改修工事を行うことにより、管理棟を令和4年度以降も市民のごみ減量を推進する拠点として活用することができる。				
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態				
	県費 0 千円	空調設備等改修工事を実施する				
	その他 0 千円					
	D 実績値	決算額	得られた成果			
20,130 千円		空調設備等の改修工事により、旧焼却棟から供給していた空調設備の切り離しができ管理棟の機能確保を図ることができた。				
		成果指標				
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 空調設備等改修工事を実施することにより、管理棟の機能確保と電力使用量を削減することができた。なお、電気・水道設備については、旧焼却棟の設備を継続使用しているため、今後、改修工事が必要となる。				
	今後の事業の方向性	現状維持 旧焼却棟の跡地利用を早急に決定し、施設内に残されている電気・水道設備を独立させることにより、管理棟の完全独立と施設内の有効利用を図る。				
A 課題解決の方向性	観点別評価	必要性	有効性	効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 -	⑦コスト削減 ない		
		②市民ニーズ -	⑤成果向上の余地 ない	余地		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 -		
					評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用	